

## ■ 2位は釧路公立大、帯広畜産大が入れ替え戦へ。1部リーグが終了

第50回北海道学生選手権第9節は10月20日、帯広市の帯広畜産大グラウンドで1部リーグの2試合を行った。釧路公立大が40-7で帯広畜産大を下し、室蘭工業大は35-18で東京農業大に勝った。1部はリーグ戦の全日程を終了し、最終順位は①北海学園大（5勝）②釧路公立大（4勝1敗）③北海道大（3勝2敗）④室蘭工業大（1勝1分け3敗）⑤東京農業大（1勝4敗）⑥帯広畜産大（1分け4敗）となった。帯広畜産大は最終節の10月27日、江別市の札幌学院大グラウンドで、2部優勝の北海道科学大と1、2部入れ替え戦を行う。

釧路公立大-帯広畜産大は、釧路公立大が第1Q1分、RB山埜涼太郎（4年、北見北斗高）の1ヤードダイブで先制すると、同6分にRB田中巨人（4年、足寄高）の19ヤードランで加点。第2Q9分にはQB中西亮太（3年、旭川商業高）からTE砂原悠二（2年、芽室高）への50ヤードパスで20-0として折り返した。後半も釧路公立大の攻撃が爆発し、第4Q3分に敵陣38ヤードからの攻撃でQB中西からWR高坂駿佑（4年、滝川西高）、RB田中とつないでTD、同8分と10分にはQB山口響生（4年、札幌清田高）がWR高坂へ23ヤード、TE砂原へ23ヤードのTD弾を連続して駄目を押した。帯広畜産大は第3Q10分、QB外崎智文（4年、大野農業高）のパスなどでボールを運び、最後はQB外崎の1ヤードダイブでTDを奪うのが精いっぱいだった。



釧路公立大の伊藤祐介コーチは「今日は4年生らしい姿を見せるプレーができた。優勝は逃したが、地理的ハンディがある環境でもやれば出来ることを学んだのが今季の収穫」と総括した。主将のRB山埜は「TDは初めて。OLを信じて突っ込むだけだった。ポテ

ンシャルのある後輩たちなので、来年は打倒北海学園大で頑張ってもらいたい」、WR高坂は「後輩に集大成の背中を見せられた。来年は打倒北海学園大、打倒北海道大と、その後の本州の大学にも食らいついてほしい」、QB山口も「自分の持ち味は試合をコントロールできること。2人の後輩QBは頼もしい。来年は自分たちの2位を越えてほしい」と、それぞれエールを送った。

帯広畜産大の西龍一郎監督は「力の差があった。TDを一本取れたが、ファンブルやインターセプトがまずかった」と反省。主将のQB外崎は「TDは意地だった。主力のけがなどで、シーズンを通してチームをまともな状態にできなかった」と残念がった。

1分け3敗の室蘭工業大と1勝3敗の東京農業大の試合は、室蘭工業大が第1Q3分、RB富樫司（4年、札幌清田高）のランで前進し、最後はQB原田颯太（2年、岡山・倉敷天城高）からWR西京介（1年、大阪・高槻高）への35ヤードパスで先制。同10分にはQB原田の1ヤードダイブで加点した。東京農業大に1TDを返された後の第2Q6分には、RB富樫の2ヤードランで21-6、第3Q5分にはQB原田からWR本間慧（2年、小樽桜陽高）への3ヤードパスで28-6と突き放した。第4Q8分にもRB富樫が2本目となる13ヤードランでTDを加えた。東京農業大は第2Q1分にRB嶋津慶二（2年、静岡・田方農業高）の4ヤードラン、第3Q9分と第4Q6分にQB関叶翔（2年、茨城・日立北高）からRB大類楽（4年、神奈川・平塚農商高）へのパスで反撃のTDを奪ったが、要所でミスが出て追い上げきれなかった。



室蘭工業大の半沢伸太郎監督は「富樫のランでリズムに乗れた。ラン中心のプラン通りにいった」とエースRBの力走に感謝。2TDパスと1TDランのQB原田は「先制のパ

スはWRの高さを生かした。4年生RBがランで出してくれ、自分たちのやりたいことができた」と快勝を喜んだ。

東京農業大は敗れたものの1999年以来、25年ぶりの1部残留。神田健心コーチは「スペシャルプレーは決まったが、初歩的なミスもあった。冬の筋トレをしっかりとやり、1対1で負けないチームをつくる」と来季を見据えた。主将のRB大類は「25年ぶりの残留はチーム全員で勝ち取った。今後もつなげられるように、自分もOBとして支えたい」と後輩にエールを送った。（広報委員 塚田博）